

県政さわやかタウンミーティング

森林計画課長

主催者	部局	経済産業部	所属	志太榛原農林事務所森林整備課
開催日時	令和7年05月13日（火） 19時～20時30分			
会場	島田市川根文化センターチャリム（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 未来への森づくりタウンミーティング			
テーマ	「森の力再生事業」と「森林づくり県民税」について			
開催目的	事業の成果や荒廃森林の実態の周知、今後の荒廃森林への対応の意見聴取			
参加者	一般 30人 男 0人 女 0人 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			
対応者	森林計画課長 森林計画課技監 志太榛原農林事務所農山村整備部長			

開 催 結 果 概 要			
開催方法 (方法・次第等 概要)	対面により開催 <次第> 1 事業成果等の説明 (1) 森の力再生事業の成果 (2) 「森林（もり）づくり県民税」と「森林環境譲与税」 (3) 森林の現況調査の結果 2 意見交換 (1) 森の力再生事業の評価 (2) 新たに確認された荒廃森林の対応		
意見件数	9件（担当事業 8件、担当事業外 1件）	発言者数	9人
意見概要	・「荒廃森林の整備」のみに税を活用してきた点は分かりやすく、評価できるので、今後も維持してほしい。 ・所有者負担なく、地域課題の放置竹林対策ができるのは素晴らしい。 ・納税者から見ると、森林は所有者が管理するのは当たり前であるが、所有者の負担ではできないことを、初期投資を投じて整備している点をしっかりPRすれば、納得してもらえるのでは。		
施策への 反映の方向性	意見を取りまとめ、新たに確認された荒廃森林への対応方法を検討する。		

県政さわやかタウンミーティング

森林計画課長

主催者	部局	経済産業部	所属	中部農林事務所森林整備課
開催日時	令和7年05月14日（水） 19時～20時30分			
会場	静岡総合庁舎（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 未来への森づくりタウンミーティング			
テーマ	「森の力再生事業」と「森林づくり県民税」について			
開催目的	事業の成果や荒廃森林の実態の周知、今後の荒廃森林への対応の意見聴取			
参加者	一般 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			66人 男 0人 女 0人
対応者	森林計画課長 森林計画課技監 中部農林事務所農山村整備部長			

開 催 結 果 概 要			
開催方法 (方法・次第等 概要)	対面により開催 <次第> 1 事業成果等の説明 (1) 森の力再生事業の成果 (2) 「森林（もり）づくり県民税」と「森林環境譲与税」 (3) 森林の現況調査の結果 2 意見交換 (1) 森の力再生事業の評価 (2) 新たに確認された荒廃森林の対応		
意見件数	15件（担当事業 13件、担当事業外 2件）	発言者数	15人
意見概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林所有者からの相談を受けて山林を見ると、木材生産に適さない森林が全体の8割程度ある。それらを整備することができるのはこの森の力再生事業しかない。継続を希望する。 ・ 事業の結果、アセビなどのシカにとっての毒草だけが aumentandoしている箇所もある。植生の回復量だけでなく、中身も調査し、評価してほしい。 ・ 森の力再生事業の継続は反対である。森林環境税の徴収も始まり、二重課税となっているため、県民の負担を増やさないようにしてほしい。 		
施策への 反映の方向性	意見をとりまとめ、新たに確認された荒廃森林への対応方法を検討する。		

県政さわやかタウンミーティング

環境局参事兼環境ふれあい課長

主催者	部局	経済産業部	所属	志太榛原農林事務所森林整備課
開催日時	令和7年05月15日（木） 19時～20時30分			
会場	藤枝市藤の瀬会館（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 未来への森づくりタウンミーティング			
テーマ	「森の力再生事業」と「森林づくり県民税」について			
開催目的	事業の成果や荒廃森林の実態の周知、今後の荒廃森林への対応の意見聴取			
参加者	一般 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			33人 男 0人 女 0人
対応者	環境局参事兼環境ふれあい課長 林業振興課長 志太榛原農林事務所農山村整備部長			

開催結果概要

開催方法 (方法・次第等 概要)	対面により開催 <次第> 1 事業成果等の説明 (1) 森の力再生事業の成果 (2) 「森林（もり）づくり県民税」と「森林環境譲与税」 (3) 森林の現況調査の結果 2 意見交換 (1) 森の力再生事業の評価 (2) 新たに確認された荒廃森林の対応		
意見件数	10件（担当事業 9件、担当事業外 1件）	発言者数	10人
意見概要	・譲与税と県民税の違いを、もう少し丁寧に分かりやすく説明する必要がある。 ・藤枝は特に竹林が多い。竹林対策もぜひお願いしたい。		
施策への 反映の方向性	意見を取りまとめ、新たに確認された荒廃森林への対応方法を検討する。		

県政さわやかタウンミーティング

森林計画課長

主催者	部局	経済産業部	所属	中部農林事務所森林整備課
開催日時	令和7年05月16日（金） 19時～20時30分			
会場	静岡市東部生涯学習センター（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 未来への森づくりタウンミーティング			
テーマ	「森の力再生事業」と「森林づくり県民税」について			
開催目的	事業の成果や荒廃森林の実態の周知、今後の荒廃森林への対応の意見聴取			
参加者	一般 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			19人 男 0人 女 0人
対応者	森林計画課長 中部農林事務所農山村整備部長			

開 催 結 果 概 要

開催方法 (方法・次第等 概要)	対面により開催 <次第> 1 事業成果等の説明 (1) 森の力再生事業の成果 (2) 「森林（もり）づくり県民税」と「森林環境譲与税」 (3) 森林の現況調査の結果 2 意見交換 (1) 森の力再生事業の評価 (2) 新たに確認された荒廃森林の対応		
意見件数	6件（担当事業 5件、担当事業外 1件）	発言者数	6人
意見概要	・面積要件も比較的小さく、集約化から漏れてしまった小規模所有者でも整備できる唯一の事業。 ・いつ、何を、どこまでやったのか、納税者に丁寧な説明をお願いしたい。 ・民間事業者と同じように、地元市民のニーズや時代に併せて、事業のスタイルを変えることを検討すべき。		
施策への 反映の方向性	意見を取りまとめ、新たに確認された荒廃森林への対応方法を検討する。		

県政さわやかタウンミーティング

自然保護課長

主催者	部局	経済産業部	所属	中部農林事務所森林整備課
開催日時	令和7年05月19日（月） 19時～20時30分			
会場	静岡市興津生涯学習交流館（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 未来への森づくりタウンミーティング			
テーマ	「森の力再生事業」と「森林づくり県民税」について			
開催目的	事業の成果や荒廃森林の実態の周知、今後の荒廃森林への対応の意見聴取			
参加者	一般 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			18人 男 0人 女 0人
対応者	自然保護課長 森林計画課技監 中部農林事務所農山村整備部長			

開 催 結 果 概 要			
開催方法 (方法・次第等 概要)	対面により開催 <次第> 1 事業成果等の説明 (1) 森の力再生事業の成果 (2) 「森林（もり）づくり県民税」と「森林環境譲与税」 (3) 森林の現況調査の結果 2 意見交換 (1) 森の力再生事業の評価 (2) 新たに確認された荒廃森林の対応		
意見件数	6件（担当事業 5件、担当事業外 1件）	発言者数	6人
意見概要	・ 県民税や森林環境税をもとに、無駄なく森林整備を進めていくうえで、森の力再生事業はバランスが良いと評価している。絶対に続けてもらいたい。 ・ 県民の目に分かりづらい。子供たちに伝えていくために、学校などで説明してはどうか。		
施策への 反映の方向性	意見を取りまとめ、新たに確認された荒廃森林への対応方法を検討する。		

県政さわやかタウンミーティング

森林・林業局長

主催者	部局	経済産業部	所属	志太榛原農林事務所森林整備課
開催日時	令和7年05月20日（火） 19時～20時30分			
会場	東益津地域交流センター（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 未来への森づくりタウンミーティング			
テーマ	「森の力再生事業」と「森林づくり県民税」について			
開催目的	事業の成果や荒廃森林の実態の周知、今後の荒廃森林への対応の意見聴取			
参加者	一般 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			23人 男 0人 女 0人
対応者	森林・林業局長 森林整備課技監 志太榛原農林事務所農山村整備部長			

開 催 結 果 概 要

開催方法 (方法・次第等 概要)	対面により開催 <次第> 1 事業成果等の説明 (1) 森の力再生事業の成果 (2) 「森林（もり）づくり県民税」と「森林環境譲与税」 (3) 森林の現況調査の結果 2 意見交換 (1) 森の力再生事業の評価 (2) 新たに確認された荒廃森林の対応		
意見件数	7件（担当事業 5件、担当事業外 2件）	発言者数	7人
意見概要	<ul style="list-style-type: none"> ・所有者の負担がなく、森が守られ環境を維持できる素晴らしい事業だと思っている。その分、県民の負担はあるが、そのおかげで事業効果が生み出せていると思う。ぜひ制度を続けていただきたい。 ・焼津市は魚の町。山に関心のある方は少ないと思う。海をきれいに保つためには、山をきれいする必要があるので、事業の必要性を焼津市民へPRしてほしい。 		
施策への 反映の方向性	意見を取りまとめ、新たに確認された荒廃森林への対応方法を検討する。		

県政さわやかタウンミーティング

環境局参事兼環境ふれあい課長

主催者	部局	経済産業部	所属	中部農林事務所森林整備課
開催日時	令和7年05月21日（水） 19時～20時30分			
会場	静岡市藁科生涯学習センター（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 未来への森づくりタウンミーティング			
テーマ	「森の力再生事業」と「森林づくり県民税」について			
開催目的	事業の成果や荒廃森林の実態の周知、今後の荒廃森林への対応の意見聴取			
参加者	一般 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			21人 男 0人 女 0人
対応者	環境局参事兼環境ふれあい課長 林業振興課長 中部農林事務所農山村整備部長			

開 催 結 果 概 要			
開催方法 (方法・次第等 概要)	対面により開催 <次第> 1 事業成果等の説明 (1) 森の力再生事業の成果 (2) 「森林（もり）づくり県民税」と「森林環境譲与税」 (3) 森林の現況調査の結果 2 意見交換 (1) 森の力再生事業の評価 (2) 新たに確認された荒廃森林の対応		
意見件数	6件（担当事業 5件、担当事業外 1件）	発言者数	6人
意見概要	放置され、荒れている保安林の対応を検討してほしい。		
施策への 反映の方向性	意見を取りまとめ、新たに確認された荒廃森林への対応方法を検討する。		

県政さわやかタウンミーティング

森林保全課長

主催者	部局	経済産業部	所属	富士農林事務所森林整備課
開催日時	令和7年05月22日（木） 19時～20時30分			
会場	富士宮市役所（ ）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 未来への森づくりタウンミーティング			
テーマ	「森の力再生事業」と「森林づくり県民税」について			
開催目的	事業の成果や荒廃森林の実態の周知、今後の荒廃森林への対応の意見聴取			
参加者	一般 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（ ）			29人 男 0人 女 0人
対応者	森林保全課長 森林計画課技監 富士農林事務所農山村整備部技監兼森林整備課長			

開 催 結 果 概 要			
開催方法 (方法・次第等 概要)	対面により開催 <次第> 1 事業成果等の説明 (1) 森の力再生事業の成果 (2) 「森林（もり）づくり県民税」と「森林環境譲与税」 (3) 森林の現況調査の結果 2 意見交換 (1) 森の力再生事業の評価 (2) 新たに確認された荒廃森林の対応		
意見件数	9件（担当事業 8件、担当事業外 1件）	発言者数	9人
意見概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業に対する県民の認知度が低い。一般の方でもわかるようにHP等を活用して、認知度を高めるべき。 ・ 荒廃して整備の緊急性が高い里山林も存在している。森林環境譲与税との棲み分けも重要であるが、そのような森林も森の力再生事業で整備することで、地域住民への広報や理解促進につながるのではないか。 		
施策への 反映の方向性	意見を取りまとめ、新たに確認された荒廃森林への対応方法を検討する。		

県政さわやかタウンミーティング

森林計画課長

主催者	部局	経済産業部	所属	志太榛原農林事務所森林整備課
開催日時	令和7年05月22日（木） 19時～20時30分			
会場	川根本町山村開発センター（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 未来への森づくりタウンミーティング			
テーマ	「森の力再生事業」と「森林づくり県民税」について			
開催目的	事業の成果や荒廃森林の実態の周知、今後の荒廃森林への対応の意見聴取			
参加者	一般 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			21人 男 0人 女 0人
対応者	森林計画課長 志太榛原農林事務所農山村整備部長			

開 催 結 果 概 要

開催方法 (方法・次第等 概要)	対面により開催 <次第> 1 事業成果等の説明 (1) 森の力再生事業の成果 (2) 「森林（もり）づくり県民税」と「森林環境譲与税」 (3) 森林の現況調査の結果 2 意見交換 (1) 森の力再生事業の評価 (2) 新たに確認された荒廃森林の対応		
意見件数	6件（担当事業 5件、担当事業外 1件）	発言者数	6人
意見概要	・大変良い事業、継続してやっていく必要がある。 ・町内でも台風による林道災害が発生しており、一部でもいいので、林道の修繕等にも県民税や譲与税が充当できるように、柔軟に対応してほしい。 ・針葉樹林を針広混交林にしていくには長い年月が必要なので、次世代を担う子ども達にも事業の意義を伝えていかなければならない。		
施策への 反映の方向性	意見を取りまとめ、新たに確認された荒廃森林への対応方法を検討する。		

県政さわやかタウンミーティング

森林計画課長

主催者	部局	経済産業部	所属	賀茂農林事務所森林整備課
開催日時	令和7年05月23日（金） 19時～20時30分			
会場	下田総合庁舎（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 未来への森づくりタウンミーティング			
テーマ	「森の力再生事業」と「森林づくり県民税」について			
開催目的	事業の成果や荒廃森林の実態の周知、今後の荒廃森林への対応の意見聴取			
参加者	一般 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			39人 男 0人 女 0人
対応者	森林計画課長 賀茂農林事務所農山村整備部長			

開 催 結 果 概 要

開催方法 (方法・次第等 概要)	対面により開催 <次第> 1 事業成果等の説明 (1) 森の力再生事業の成果 (2) 「森林（もり）づくり県民税」と「森林環境譲与税」 (3) 森林の現況調査の結果 2 意見交換 (1) 森の力再生事業の評価 (2) 新たに確認された荒廃森林の対応		
意見件数	12件（担当事業 10件、担当事業外 2件）	発言者数	12人
意見概要	・ 山主からも「やってよかった」との声を良く聞き、大事な事業だと思う。 ・ 竹林や広葉樹林整備の必要性や需要は高い一方で、予算配分が少ない。計画の見直しや、市町の森林環境譲与税の用途に関する指導を求める。		
施策への 反映の方向性	意見をとりまとめ、新たに確認された荒廃森林への対応方法を検討する。		

県政さわやかタウンミーティング

森林計画課技監

主催者	部局	経済産業部	所属	賀茂農林事務所森林整備課
開催日時	令和7年05月26日（月） 19時～20時30分			
会場	松崎町環境改善センター（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 未来への森づくりタウンミーティング			
テーマ	「森の力再生事業」と「森林づくり県民税」について			
開催目的	事業の成果や荒廃森林の実態の周知、今後の荒廃森林への対応の意見聴取			
参加者	一般 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			35人 男 0人 女 0人
対応者	森林計画課技監 賀茂農林事務所農山村整備部長			

開 催 結 果 概 要

開催方法 (方法・次第等 概要)	対面により開催 <次第> 1 事業成果等の説明 (1) 森の力再生事業の成果 (2) 「森林（もり）づくり県民税」と「森林環境譲与税」 (3) 森林の現況調査の結果 2 意見交換 (1) 森の力再生事業の評価 (2) 新たに確認された荒廃森林の対応		
意見件数	10件（担当事業 9件、担当事業外 1件）	発言者数	10人
意見概要	・この地域は広葉樹薪炭林や元人工林も多く、食害等によって荒廃した広葉樹林がまだまだある。 ・PR不足が大きい。自分が住む市町で、どこを整備したかがわかるような広報を行ってほしい。 ・大きくなった広葉樹等が河川に流出することがあるので、河川沿いの立木の整備も検討してほしい。		
施策への 反映の方向性	意見を取りまとめ、新たに確認された荒廃森林への対応方法を検討する。		

県政さわやかタウンミーティング

森林計画課技監

主催者	部局	経済産業部	所属	富士農林事務所森林整備課
開催日時	令和7年05月27日（火） 19時～20時			
会場	富士総合庁舎201会議室（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 未来への森づくりタウンミーティング			
テーマ	「森の力再生事業」と「森林づくり県民税」について			
開催目的	事業の成果や荒廃森林の実態の周知、今後の荒廃森林への対応の意見聴取			
参加者	一般 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			37人 男 31人 女 6人
対応者	森林計画課技監 自然保護課鳥獣捕獲管理室長 富士農林事務所農山村整備部技監兼森林整備課長			

開催結果概要

開催方法 (方法・次第等 概要)	対面により開催 ○事業成果等の説明 (1) 森の力再生事業の成果 (2) 「森林（もり）づくり県民税」と「森林環境譲与税」 (3) 森林の現況調査の結果 ○意見交換 (1) 森の力再生事業の評価 (2) 新たに確認された荒廃森林の対応		
意見件数	9件（担当事業 9件、担当事業外 0件）	発言者数	7人
意見概要	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を継続し、保安林や里山、民家近くなどの対象外の森林への軽等、申請が難しい所有者向けに簡易メニューの追加、地域ごとに異なるニーズに合わせメニューをカスタマイズできるようにしてほしい ・災害直後の迅速な対応してほしい ・広葉樹導入後の高木育成に注力してほしい ・テレビやメディアを使った積極的なPRが必要 ・一般市民に分かりやすい形で目立つ場所で展開してほしい 		
施策への 反映の方向性	意見をとりまとめ、新たに確認された荒廃森林への対応方法を検討する。		

県政さわやかタウンミーティング

森林整備課長

主催者	部局	経済産業部	所属	東部農林事務所森林整備課
開催日時	令和7年05月28日（水） 19時～20時30分			
会場	東部総合庁舎（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 未来への森づくりタウンミーティング			
テーマ	「森の力再生事業」と「森林づくり県民税」について			
開催目的	事業の成果や荒廃森林の実態の周知、今後の荒廃森林への対応の意見聴取			
参加者	一般 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			48人 男 0人 女 0人
対応者	森林整備課長 森林計画課技監 東部農林事務所農山村整備部技監			

開催結果概要

開催方法 (方法・次第等 概要)	対面により開催 <次第> 1 事業成果等の説明 (1) 森の力再生事業の成果 (2) 「森林（もり）づくり県民税」と「森林環境譲与税」 (3) 森林の現況調査の結果 2 意見交換 (1) 森の力再生事業の評価 (2) 新たに確認された荒廃森林の対応		
意見件数	13件（担当事業 11件、担当事業外 2件）	発言者数	13人
意見概要	<ul style="list-style-type: none"> ・依然として森林の荒廃が進んでいることは事実。近年、大雨後などに川の濁りが確認されている。 ・広報に関しては、海とのコラボレーションを行っていくのが良いと思う。テレビCMも有効ではないか。 ・保安林が対象外のため、保安林だけ取り残されている印象がある。対象森林の枠を広げてほしい。 ・継続に反対。林業関係者から今の基準では適用森林が少なすぎて、県民から毎年400円をもらうほどの事業量は確保できないと聞いた。 		
施策への 反映の方向性	意見をとりまとめ、新たに確認された荒廃森林への対応方法を検討する。		

県政さわやかタウンミーティング

森林整備課長

主催者	部局	経済産業部	所属	中遠農林事務所森林整備課
開催日時	令和7年05月28日（水） 19時～20時30分			
会場	掛川市役所（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 未来への森づくりタウンミーティング			
テーマ	「森の力再生事業」と「森林づくり県民税」について			
開催目的	事業の成果や荒廃森林の実態の周知、今後の荒廃森林への対応の意見聴取			
参加者	一般 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			47人 男 0人 女 0人
対応者	森林整備課長 森林整備課技監 中遠農林事務所農山村整備部長			

開 催 結 果 概 要

開催方法 (方法・次第等 概要)	対面により開催 <次第> 1 事業成果等の説明 (1) 森の力再生事業の成果 (2) 「森林（もり）づくり県民税」と「森林環境譲与税」 (3) 森林の現況調査の結果 2 意見交換 (1) 森の力再生事業の評価 (2) 新たに確認された荒廃森林の対応		
意見件数	14件（担当事業 12件、担当事業外 2件）	発言者数	14人
意見概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伐採だけでなく、境界の調査も行うため、境界がわからず困っている人たちの助けになり、伐採以外の波及効果もある。 ・ まだまだ整備しきれていない森林があるので、事業は継続してほしい。 ・ 森林所有者だけでなく、県民全員が関わる話なので、学校教育の中で、森林の多面的機能について教育すべき。 ・ シカの食害が深刻化している。様々な森林の環境変化に対応して欲しい。 		
施策への 反映の方向性	意見を取りまとめ、新たに確認された荒廃森林への対応方法を検討する。		

県政さわやかタウンミーティング

森林整備課長

主催者	部局	経済産業部	所属	東部農林事務所森林整備課
開催日時	令和7年05月29日（木） 19時～20時30分			
会場	御殿場市民会館（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 未来への森づくりタウンミーティング			
テーマ	「森の力再生事業」と「森林づくり県民税」について			
開催目的	事業の成果や荒廃森林の実態の周知、今後の荒廃森林への対応の意見聴取			
参加者	一般 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			30人 男 0人 女 0人
対応者	森林整備課長 森林保全課長 東部農林事務所農山村整備部技監			

開 催 結 果 概 要

開催方法 (方法・次第等 概要)	対面により開催 <次第> 1 事業成果等の説明 (1) 森の力再生事業の成果 (2) 「森林（もり）づくり県民税」と「森林環境譲与税」 (3) 森林の現況調査の結果 2 意見交換 (1) 森の力再生事業の評価 (2) 新たに確認された荒廃森林の対応		
意見件数	9件（担当事業 8件、担当事業外 1件）	発言者数	9人
意見概要	・採算が合わずに整備が行き届かない森林を整備できる大変貴重な事業なので、継続を希望する。 ・事業を実施したが下草が十分に回復しなかった森林については、条件付きで追加整備できるように検討してほしい。		
施策への 反映の方向性	意見を取りまとめ、新たに確認された荒廃森林への対応方法を検討する。		

県政さわやかタウンミーティング

森林計画課技監

主催者	部局	経済産業部	所属	東部農林事務所森林整備課
開催日時	令和7年05月30日（金） 19時～20時30分			
会場	伊東市役所（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 未来への森づくりタウンミーティング			
テーマ	「森の力再生事業」と「森林づくり県民税」について			
開催目的	事業の成果や荒廃森林の実態の周知、今後の荒廃森林への対応の意見聴取			
参加者	一般 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			37人 男 0人 女 0人
対応者	森林計画課技監 東部農林事務所農山村整備部技監			

開 催 結 果 概 要

開催方法 (方法・次第等 概要)	対面により開催 <次第> 1 事業成果等の説明 (1) 森の力再生事業の成果 (2) 「森林（もり）づくり県民税」と「森林環境譲与税」 (3) 森林の現況調査の結果 2 意見交換 (1) 森の力再生事業の評価 (2) 新たに確認された荒廃森林の対応		
意見件数	11件（担当事業 9件、担当事業外 2件）	発言者数	11人
意見概要	・令和元年の台風で発生した倒木をこの事業で片付けていただき、ありがたく思っている。まだ完全に処理が終わった訳ではないので、この事業の継続を強く希望する。 ・風倒木はなかなか整備しきれない現状の中で、事業がなくなってしまうと放置せざるを得なくなるので、ぜひ事業を続けてほしい。		
施策への 反映の方向性	意見をとりまとめ、新たに確認された荒廃森林への対応方法を検討する。		

県政さわやかタウンミーティング

森林計画課長

主催者	部局	経済産業部	所属	中遠農林事務所森林整備課
開催日時	令和7年05月30日（金） 19時～20時30分			
会場	森町町民生活センター（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 未来への森づくりタウンミーティング			
テーマ	「森の力再生事業」と「森林づくり県民税」について			
開催目的	事業の成果や荒廃森林の実態の周知、今後の荒廃森林への対応の意見聴取			
参加者	一般 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			39人 男 0人 女 0人
対応者	森林計画課長 中遠農林事務所農山村整備部長			

開催結果概要

開催方法 (方法・次第等 概要)	対面により開催 <次第> 1 事業成果等の説明 (1) 森の力再生事業の成果 (2) 「森林（もり）づくり県民税」と「森林環境譲与税」 (3) 森林の現況調査の結果 2 意見交換 (1) 森の力再生事業の評価 (2) 新たに確認された荒廃森林の対応		
意見件数	12件（担当事業 10件、担当事業外 2件）	発言者数	12人
意見概要	<ul style="list-style-type: none"> ・相続した山林について、丸太の価格が下がって山の関心がなくなり、整備を行わなくなった。何十年か経った後、荒れた森林を見たときは愕然とし、責任を感じた。その後、森林組合に森の力再生事業で整備してもらった森林を見たときは感動すら覚えた。この感動を他の者にも共有したい。事業の継続を希望する。 ・税金を払っていても、どのように使われているのか、どこでやっているかもわからない。私の周りでは全然やっていない。譲与税でもいいからやって欲しい。 ・土砂災害等の災害は全県の問題なので、県は県で森の力再生事業に取り組んでいくことを明確にすることが大切だと思う。 ・市町は住民の声をちゃんとくみ上げ、森林環境譲与税を活用して、人里に近い山の整備をしてほしい。県と市が連携して森林の整備を進めて欲しい。 		
施策への 反映の方向性	意見を取りまとめ、新たに確認された荒廃森林への対応方法を検討する。		

県政さわやかタウンミーティング

森林整備課長

主催者	部局	経済産業部	所属	東部農林事務所森林整備課
開催日時	令和7年06月02日（月） 19時～20時30分			
会場	函南町役場（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 未来への森づくりタウンミーティング			
テーマ	「森の力再生事業」と「森林づくり県民税」について			
開催目的	事業の成果や荒廃森林の実態の周知、今後の荒廃森林への対応の意見聴取			
参加者	一般 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			19人 男 0人 女 0人
対応者	森林整備課長 森林計画課技監 東部農林事務所農山村整備部技監			

開催結果概要

開催方法 (方法・次第等 概要)	対面により開催 <次第> 1 事業成果等の説明 (1) 森の力再生事業の成果 (2) 「森林（もり）づくり県民税」と「森林環境譲与税」 (3) 森林の現況調査の結果 2 意見交換 (1) 森の力再生事業の評価 (2) 新たに確認された荒廃森林の対応		
意見件数	6件（担当事業 5件、担当事業外 1件）	発言者数	6人
意見概要	・函南町は県境に接しており、森林は県を跨ぐことから、国による一体的な整備が必要だと思う。 ・新たな荒廃森林は毎年どんどん増えていく。延長が前提で、タウンミーティングをやっているように感じる。		
施策への 反映の方向性	意見を取りまとめ、新たに確認された荒廃森林への対応方法を検討する。		

県政さわやかタウンミーティング

自然保護課長

主催者	部局	経済産業部	所属	東部農林事務所森林整備課
開催日時	令和7年06月03日（火） 19時～20時30分			
会場	伊豆市役所（ ）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 未来への森づくりタウンミーティング			
テーマ	「森の力再生事業」と「森林づくり県民税」について			
開催目的	事業の成果や荒廃森林の実態の周知、今後の荒廃森林への対応の意見聴取			
参加者	一般 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（ ）			32人 男 0人 女 0人
対応者	自然保護課長 森林計画課技監 東部農林事務所農山村整備部技監			

開 催 結 果 概 要

開催方法 (方法・次第等 概要)	対面により開催 <次第> 1 事業成果等の説明 (1) 森の力再生事業の成果 (2) 「森林（もり）づくり県民税」と「森林環境譲与税」 (3) 森林の現況調査の結果 2 意見交換 (1) 森の力再生事業の評価 (2) 新たに確認された荒廃森林の対応		
意見件数	10件（担当事業 9件、担当事業外 1件）	発言者数	10人
意見概要	・伊豆市内では、組合などから独立した小規模な事業体がこの事業を活用していく中で育成されており、組合以外の担い手が増えることで森林整備が進むという良い循環が生まれている。事業の継続を望む。 ・税金を払っているが、自分の所有する森林の場所すらわからない方が増えている。代替わりすると更に興味が薄れ、森林の荒廃が進んでしまう。		
施策への 反映の方向性	意見を取りまとめ、新たに確認された荒廃森林への対応方法を検討する。		

県政さわやかタウンミーティング

森林計画課長

主催者	部局	経済産業部	所属	中遠農林事務所森林整備課
開催日時	令和7年06月03日（火） 19時～20時30分			
会場	菊川市役所（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 未来への森づくりタウンミーティング			
テーマ	「森の力再生事業」と「森林づくり県民税」について			
開催目的	事業の成果や荒廃森林の実態の周知、今後の荒廃森林への対応の意見聴取			
参加者	一般 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			37人 男 0人 女 0人
対応者	森林計画課長 中遠農林事務所農山村整備部長			

開 催 結 果 概 要

開催方法 (方法・次第等 概要)	対面により開催 <次第> 1 事業成果等の説明 (1) 森の力再生事業の成果 (2) 「森林（もり）づくり県民税」と「森林環境譲与税」 (3) 森林の現況調査の結果 2 意見交換 (1) 森の力再生事業の評価 (2) 新たに確認された荒廃森林の対応		
意見件数	11件（担当事業 10件、担当事業外 1件）	発言者数	11人
意見概要	・地域住民は高齢化し、放置竹林が多く困っている。事業を継続して欲しい。 ・森林所有者の世代交代により、森林への関わりが薄くなる中、事業は整備者が事業内容の説明や境界の確定を行うため、自分の山を知るきっかけ、興味を持つきっかけになる。事業の継続を希望する。		
施策への 反映の方向性	意見をとりまとめ、新たに確認された荒廃森林への対応方法を検討する。		

県政さわやかタウンミーティング

森林計画課長

主催者	部局	経済産業部	所属	中遠農林事務所森林整備課
開催日時	令和7年06月05日（木） 19時～20時30分			
会場	磐田市豊岡東交流センター（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 未来への森づくりタウンミーティング			
テーマ	「森の力再生事業」と「森林づくり県民税」について			
開催目的	事業の成果や荒廃森林の実態の周知、今後の荒廃森林への対応の意見聴取			
参加者	一般 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			32人 男 0人 女 0人
対応者	森林計画課長 中遠農林事務所農山村整備部長			

開 催 結 果 概 要			
開催方法 (方法・次第等 概要)	対面により開催 <次第> 1 事業成果等の説明 (1) 森の力再生事業の成果 (2) 「森林（もり）づくり県民税」と「森林環境譲与税」 (3) 森林の現況調査の結果 2 意見交換 (1) 森の力再生事業の評価 (2) 新たに確認された荒廃森林の対応		
意見件数	9件（担当事業 7件、担当事業外 2件）	発言者数	9人
意見概要	・磐田市民としては敷地川の氾濫が心配。敷地川上流の整備状況を教えてほしい。 ・ハード面の整備だけでなく、環境教育などのソフト面への活用があってもよいのではないか。		
施策への 反映の方向性	意見をとりまとめ、新たに確認された荒廃森林への対応方法を検討する。		

県政さわやかタウンミーティング

森林計画課技監

主催者	部局	経済産業部	所属	志太榛原農林事務所森林整備課
開催日時	令和7年06月09日（月） 19時～20時30分			
会場	相良総合センター（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 未来への森づくりタウンミーティング			
テーマ	「森の力再生事業」と「森林づくり県民税」について			
開催目的	事業の成果や荒廃森林の実態の周知、今後の荒廃森林への対応の意見聴取			
参加者	一般 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			23人 男 0人 女 0人
対応者	森林計画課技監 志太榛原農林事務所農山村整備部長			

開 催 結 果 概 要

開催方法 (方法・次第等 概要)	対面により開催 <次第> 1 事業成果等の説明 (1) 森の力再生事業の成果 (2) 「森林（もり）づくり県民税」と「森林環境譲与税」 (3) 森林の現況調査の結果 2 意見交換 (1) 森の力再生事業の評価 (2) 新たに確認された荒廃森林の対応		
意見件数	7件（担当事業 6件、担当事業外 1件）	発言者数	7人
意見概要	・整備した森林は確実に下草が回復し、効果を実感している。昨今の異常気象による大雨や強風により、土砂流出や倒木が起きやすい状況であり、継続的な整備が必要であると思う。 ・教育関係部門との連携はできているのか。今後も事業が続くのであれば、なおさら、子ども達への理解醸成をお願いしたい。		
施策への 反映の方向性	意見をとりまとめ、新たに確認された荒廃森林への対応方法を検討する。		

県政さわやかタウンミーティング

経済産業部理事

主催者	部局	経済産業部	所属	西部農林事務所森林整備課
開催日時	令和7年06月09日（月） 19時～20時30分			
会場	浜松総合庁舎（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 未来への森づくりタウンミーティング			
テーマ	「森の力再生事業」と「森林づくり県民税」について			
開催目的	事業の成果や荒廃森林の実態の周知、今後の荒廃森林への対応の意見聴取			
参加者	一般 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			37人 男 0人 女 0人
対応者	経済産業部理事 林業振興課長 西部農林事務所農山村森林整備部技監 県森林整備課長			

開催結果概要

開催方法 (方法・次第等 概要)	対面により開催 <次第> 1 事業成果等の説明 (1) 森の力再生事業の成果 (2) 「森林（もり）づくり県民税」と「森林環境譲与税」 (3) 森林の現況調査の結果 2 意見交換 (1) 森の力再生事業の評価 (2) 新たに確認された荒廃森林の対応		
意見件数	11件（担当事業 10件、担当事業外 1件）	発言者数	11人
意見概要	・所有者と整備者が計画を立てて県に認めてもらい、その年に整備するというスピード感を持って実施できる仕組みは優れていると思うし、他になかなかない稀な事業。ぜひ残してほしい。 ・効果が市民には見えにくいような気がする。うまくいった事例もちろん、うまくいかなかった事例も、もっと公開してもいい。		
施策への 反映の方向性	意見を取りまとめ、新たに確認された荒廃森林への対応方法を検討する。		

県政さわやかタウンミーティング

森林整備課技監

主催者	部局	経済産業部	所属	西部農林事務所森林整備課
開催日時	令和7年06月10日（火） 19時～20時30分			
会場	湖西市健康福祉センター（ ）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 未来への森づくりタウンミーティング			
テーマ	「森の力再生事業」と「森林づくり県民税」について			
開催目的	事業の成果や荒廃森林の実態の周知、今後の荒廃森林への対応の意見聴取			
参加者	一般 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（ ）			13人 男 0人 女 0人
対応者	森林整備課技監 森林計画課長代理 西部農林事務所農山村森林整備部技監県森林整備課長			

開催結果概要

開催方法 (方法・次第等 概要)	対面により開催 <次第> 1 事業成果等の説明 (1) 森の力再生事業の成果 (2) 「森林（もり）づくり県民税」と「森林環境譲与税」 (3) 森林の現況調査の結果 2 意見交換 (1) 森の力再生事業の評価 (2) 新たに確認された荒廃森林の対応		
意見件数	4件（担当事業 3件、担当事業外 1件）	発言者数	4人
意見概要	・湖西市の現場も多く拝見し、国土を守り、美しい景観を保つ多面的機能を発揮させる、良い事業だと思ふ。 ・新たな荒廃森林が見つかったということは、森林整備が困難な箇所は今後も荒廃していく可能性が高いのではないかと。緊急性の高い森林だけでなく、荒廃予備軍である困難性の高い森林へも対応し、新たな荒廃森林を生まないようにすることも必要ではないか。		
施策への 反映の方向性	意見を取りまとめ、新たに確認された荒廃森林への対応方法を検討する。		

県政さわやかタウンミーティング

校長

主催者	部局	経済産業部	所属	浜松技術専門校訓練課
開催日時	令和7年06月11日（水） 11時30分～12時			
会場	浜松技術専門校（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング			
テーマ	本校に期待すること			
開催目的	本校の職業訓練に対する評価、要望、提案を伺う			
参加者	静岡県西部技能センター運営協議会			9人 男 9人 女 0人
	<input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 一般 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ものづくり系業界団体代表者）			
対応者	校長			

開催結果概要

開催方法 (方法・次第等 概要)	静岡県西部技能センター運営協議会の総会に引き続き実施 《次第》 1. 本校の職業訓練に関する説明（校より） 2. 当校運営に係る課題と提言について 3. その他質疑応答 4. 総括（校長より）		
意見件数	2件（担当事業 2件、担当事業外 0件）	発言者数	9人
意見概要	1. 専門校の入校生が少ない原因には社会的な少子化とともに、ものづくりの現場で働く技術者・技能者の地位がまだまだ低いことも原因となっている。彼らの地位向上を図り、将来に対する希望を持てる業界となるためにも、賃金水準の向上など業界団体としてできることに取り組んでいく必要がある。（複数の発言者より同様の意見） 2. 外国人に対する職業訓練の実施状況を伺いたい。 →過去の受講状況と、外国籍の訓練生の募集活動について説明を行った。		
施策への 反映の方向性	訓練生の確保について引き続き業界団体と協力を行っていく。		

県政さわやかタウンミーティング

森林計画課長

主催者	部局	経済産業部	所属	西部農林事務所天竜農林局森林整備課
開催日時	令和7年06月11日（水） 19時～20時30分			
会場	引佐多目的研修センター（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 未来への森づくりタウンミーティング			
テーマ	「森の力再生事業」と「森林づくり県民税」について			
開催目的	事業の成果や荒廃森林の実態の周知、今後の荒廃森林への対応の意見聴取			
参加者	一般 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			16人 男 0人 女 0人
対応者	森林計画課長 西部農林事務所天竜農林局長 西部農林事務所天竜農林局農山村森林整備部技監			

開 催 結 果 概 要

開催方法 (方法・次第等 概要)	対面により開催 <次第> 1 事業成果等の説明 (1) 森の力再生事業の成果 (2) 「森林（もり）づくり県民税」と「森林環境譲与税」 (3) 森林の現況調査の結果 2 意見交換 (1) 森の力再生事業の評価 (2) 新たに確認された荒廃森林の対応		
意見件数	5件（担当事業 4件、担当事業外 1件）	発言者数	5人
意見概要	・10年かけて荒廃森林を整備したにもかかわらず荒廃森林が増えているのは、所有者個人が整備できないまま放置されてしまっているのが原因だと考える。所有者負担がない森の力再生事業による森林整備は重要であり、今後とも続けて欲しい。 ・引佐町内では、電線、道路等にかかる可能性のあるところを帯状に伐採する「予防伐採」にも取り組んでいる。今後も台風等被害が増えることが見込まれる中で、電線・通信線等も被害を受ける可能性がある。県でも整備を推進して欲しい。		
施策への 反映の方向性	意見を取りまとめ、新たに確認された荒廃森林への対応方法を検討する。		

県政さわやかタウンミーティング

沼津工業技術支援センター長

主催者	部局	経済産業部	所属	工業技術研究所総務課沼津分室
開催日時	令和7年06月12日（木） 10時30分～12時			
会場	沼津工業技術支援センター（ ）			
名称	県政さわやかタウンミーティング			
テーマ	最近の経済情勢と対応状況、沼津工業技術支援センターに求めること、他			
開催目的	工業技術研究所沼津工業技術支援センターの活動の円滑化を図るために、工業技術研究所沼津工業技術支援センターの主たる利用者である沼津センター協議会員を対象として意見交換を行う。			
参加者	静岡県工業技術研究所沼津センター協議会員 16人 男 14人 女 2人 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
対応者	沼津工業技術支援センター長			

開 催 結 果 概 要

開催方法 (方法・次第等 概要)	令和7年度 静岡県工業技術研究所沼津センター協議会第36回通常総会		
意見件数	16件（担当事業 16件、担当事業外 0件）	発言者数	16人
意見概要	（原材料高騰の対応） ・材料の有効利用のために、廃棄率を下げる開発に取り組んでいる。 ・材料を変えると機械も変える必要がある、また、安全性の観点から代替材料が難しいという面がある。 ・価格交渉がようやくできる雰囲気にはなっている （人材確保） ・定年後嘱託制度で対応、高齢でも働ける環境作りに取り組んでいる。 ・優秀な人材を資金をつぎ込んで集めている。また、ハイクラス人材のスカウトなど、多方面で求人を行っている。 ・自動化による省人化や仕事を細分化し、危険でない単純労働の時間雇用人材の活用も模索している。 ・人をどう育てるかが課題であり、若手社員の友人紹介なども行っている。 ・業界全体で高齢化が進んでいるので、魅力ある仕事という上手な発信をしていきたい。 （センターに求めること） ・商品高付加価値化につながる技術の開発や基礎的な研究に取り組んでほしい。 ・若手育成等セミナーで基本的なところを教えてほしい。 ・信頼性試験の充実を希望する		
施策への 反映の方向性	各企業及び団体において、代替材料探索や価格交渉、様々な人材確保や育成の取組を行っていた。引き続き、協議会を通して情報提供を行い、関係企業のニーズの把握に努める。また、センターの利用の周知を図り、見学や施設利用等の希望に対応していく。		

県政さわやかタウンミーティング

森林計画課技監

主催者	部局	経済産業部	所属	西部農林事務所天竜農林局森林整備課
開催日時	令和7年06月12日（木） 14時～15時30分			
会場	浜松市水窪支所（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 未来への森づくりタウンミーティング			
テーマ	「森の力再生事業」と「森林づくり県民税」について			
開催目的	事業の成果や荒廃森林の実態の周知、今後の荒廃森林への対応の意見聴取			
参加者	一般 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			32人 男 0人 女 0人
対応者	森林計画課技監 西部農林事務所天竜農林局長 西部農林事務所天竜農林局農山村森林整備部技監			

開 催 結 果 概 要

開催方法 (方法・次第等 概要)	対面により開催 <次第> 1 事業成果等の説明 (1) 森の力再生事業の成果 (2) 「森林（もり）づくり県民税」と「森林環境譲与税」 (3) 森林の現況調査の結果 2 意見交換 (1) 森の力再生事業の評価 (2) 新たに確認された荒廃森林の対応		
意見件数	10件（担当事業 9件、担当事業外 1件）	発言者数	10人
意見概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森の力再生事業により荒廃森林が解消されたのは明らか。佐久間ダム周辺で実施された事業は、流木の対策としても成果を上げている。是非、継続をお願いしたい。 ・ 森林環境税とのだぶり感の話は、県が住民に説明を続けていけば納得すると考えている。 ・ 伐倒木を横に置く森の力再生事業は、自然のダムの役割も発揮する。森の力再生事業の継続をお願いする。住民に公益的機能の効果が大きいことを訴えてほしい。 		
施策への 反映の方向性	意見を取りまとめ、新たに確認された荒廃森林への対応方法を検討する。		

県政さわやかタウンミーティング

工科短期大学校 副校長兼事務局長

主催者	部局	経済産業部	所属	工科短期大学校学務課
開催日時	令和7年07月02日（水） 14時～15時30分			
会場	県立工科短期大学校（静岡キャンパス）（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング			
テーマ	工科短期大学校運営に関する協力会会員企業・団体との意見交換			
開催目的	工科短期大学校の運営等について、当校及び地域の状況を熟知している協力会の方々と意見交換を行う。			
参加者	協力会会員企業・団体 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			42人 男 0人 女 0人
対応者	工科短期大学校 副校長兼事務局長 工科短期大学校 副校長兼沼津キャンパス長 工科短期大学校 技監 工科短期大学校沼津キャンパス 技監兼教務課長			

開 催 結 果 概 要

開催方法 (方法・次第等 概要)	総会において意見交換（質疑応答形式）		
意見件数	3件（担当事業 2件、担当事業外 1件）	発言者数	3人
意見概要	<ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率は7割程度 ・ものづくり人材を養成しているが、受入れ企業数は多い。 ・入校者確保のために高校との連携を深めて、設備が充実していることをもっと発信していただきたい。 		
施策への 反映の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる機会を活用して、入校生確保の広報を行っていく。 ・ものづくり機運醸成のため、子どもを対象としたものづくり体験を実施する。 		

県政さわやかタウンミーティング

浜松工業技術支援センター長

主催者	部局	経済産業部	所属	工業技術研究所浜松工業技術支援センター
開催日時	令和7年07月03日（木） 13時30分～16時			
会場	浜松工業技術支援センター（ ）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 静岡県工業技術研究所浜松センター協議会役員会			
テーマ	業界の現状と課題及び課題解決のために研究所に期待すること			
開催目的	浜松工業技術支援センターの活動の円滑化と健全な発展を目的に、静岡県工業技術研究所浜松センター協議会役員から意見や要望を伺い、中小企業等への支援施策に反映させる。			
参加者	浜松工業技術支援センター協議会役員 36人 男 36人 女 0人 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
対応者	浜松工業技術支援センター長			

開催結果概要

開催方法 (方法・次第等 概要)	<ul style="list-style-type: none"> 当センターの昨年度業務実績及び今年度研究概要の報告 昨年度協議会委員会の意見に対する当センターの対応結果の報告 当センターの施設見学 		
意見件数	21件（担当事業 21件、担当事業外 0件）	発言者数	21人
意見概要	<ul style="list-style-type: none"> 大型完成品や装置の寸法測定用で貸出可能なタイプのスキャナを要望する。 新聞やテレビなど地域メディアに取り上げられるイベントがあると、参加企業や社員の励みとなる。 人材不足の影響が大きい。小学生や中学生の段階で理系好きを増やすような活動に期待したい。 また、高校生や大学生と企業の結びつきを強化したい。 AIが、ものづくりに活用された事例をあまり知らないなので、事例紹介やセミナーなどの導入支援を要望する。 		
施策への 反映の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 多関節アーム式型の3Dスキャナを昨年度導入した。職員が企業様の現場に持ち込んで使っている。プッシュ型支援も実施している。 地域企業の発展の為、新技術や試験機器の情報発信をしている。特に会員企業の活躍については、メディアへの情報発信に積極的に協力する。 工業技術研究所フェアで施設を開放するとともに、小学生向けのイベントを行っている。また、高校生の見学を実施し、大学生には研究会を通じて、企業とのマッチングに取り組んでいる。 AIに関する取り組みは職員間での情報交換から開始している。 		

県政さわやかタウンミーティング

富士工業技術支援センター センター長

主催者	部局	経済産業部	所属	工業技術研究所総務課富士分室
開催日時	令和7年07月16日（水） 10時～12時			
会場	富士工業技術支援センター（ ）			
名称	県政さわやかタウンミーティング			
テーマ	最近の経済情勢と対応状況、富士工業技術支援センターに求めること、他			
開催目的	富士工業技術支援センターの活動の円滑化をはかるため、富士センター協議会の役員を対象として意見交換を行い、中小企業への支援施策に反映させる。			
参加者	富士センター協議会 20人 男 20人 女 0人 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
対応者	富士工業技術支援センター センター長			

開 催 結 果 概 要

開催方法 (方法・次第等 概要)	対面とオンライン（Webex）のハイブリット形式		
意見件数	20件（担当事業 0件、担当事業外 20件）	発言者数	20人
意見概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ トランプ関税について、現時点で大きな影響はなく、今後影響が出るものと予想するが、先行きが不透明なため対策が困難である。アメリカの製造業が国内回帰しているとの見方もあり、今後はアメリカではなく、地球環境をPRしているEUをターゲットに据えた事業戦略を立てていく企業もある。 ・ 人手不足に悩んでいる。今までは理系採用を主としていたが、今は文系も採用対象としており、地元高校への訪問、工場見学への受け入れ、外国人の採用などに力を入れている。ただし出生率の低下、大学進学者の増加、外国人の母国語に合わせた手順書の作成など、課題も多い。また企業を認知度を上げることも重要と考えており、テレビコマーシャルや道路沿いに企業の案内看板を設置するなどに対応している。 ・ 作業工程の自動化やAIの導入を検討しているが、少量多品種やバッチ製造などの企業では導入が難しいとのこと。付加価値を生まないが労力が必要な作業工程に導入しており、空いた時間で品質の向上に努めているとのこと。 ・ デジタル化について、紙媒体又は電子媒体で作成した作業手順書ではなく、動画形式で作成した作業手順動画による引継ぎを行っているとのこと。 ・ 米国関税措置による県内事業者への影響調査を踏まえて、県がどのような対策を講じてくれるのか疑問である。 		
施策への 反映の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米国関税措置による県内事業者への影響調査について、県もお金に余裕がなくなってきており、サマーレビューを実施し事業の見直しをはかり、来年度の予算のための根拠資料とする。今回提示された課題を一気に解決する手段はないと思うが、今回の調査を基に、新規事業の立案の参考にさせていただく。 ・ 研究所としては、自動化やAIを活用することで、企業の自動化、省力化につながる技術の現場実装のお手伝いができればと感じている。 		

県政さわやかタウンミーティング

工業技術研究所 所長

主催者	部局	経済産業部	所属	工業技術研究所企画調整部
開催日時	令和7年07月18日（金） 15時～17時			
会場	静岡市産学交流センターB-nest（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 静岡県工業技術研究所 静岡協議会 委員会			
テーマ	1 急激な社会環境の変化に対応するために、企業が考えている対策や取組事例について 2 研究所に期待する支援について			
開催目的	工業技術研究所（本所）の活動の円滑化と健全な発展を目的に、静岡県工業技術研究所静岡協議会委員から意見や要望を伺い、中小企業等への支援施策に反映させる			
参加者	静岡県工業技術研究所静岡協議会委員			14人 男 14人 女 0人
	<input type="checkbox"/> 小学生未満	<input type="checkbox"/> 高校生	<input type="checkbox"/> 特別支援学校生	
	<input type="checkbox"/> 小学生	<input type="checkbox"/> 大学生		
	<input type="checkbox"/> 中学生	<input checked="" type="checkbox"/> 一般		
	<input type="checkbox"/> その他（）			
対応者	工業技術研究所 所長			

開催結果概要

開催方法 (方法・次第等概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究所の昨年度業務実績及び今年度研究概要の報告 ・ 昨年度協議会委員会の意見に対する研究所の対応結果の報告 ・ 各部会開催結果の報告 ・ 共通テーマについての意見交換 		
意見件数	14件（担当事業 14件、担当事業外 0件）	発言者数	0人
意見概要	<p>(1) 急激な社会環境の変化に対応するために、企業が考えている対応・対策や取組事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化により人材の確保・育成が困難。DXやAIの活用により業務効率化、生産性の向上に取り組む。 ・ 幅広い業種、仕事に取り組みリスクを分散。展示会への出展により、企業PRや販路拡大、企業のブランディングに取り組む。 ・ 従業員のウェルビーイングへの配慮が必要。 ・ 新たな規制等に対応できないと操業が困難。 <p>(2) 研究所や県に期待する支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門人材の育成支援 ・ 企業訪問の強化による各企業の実情に応じた支援 ・ 新たな規制や対応する分析方法に関する情報提供 ・ 企業へのPR強化による認知度向上 		
施策への反映の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所内8科が連携・協力し、企業の課題を点ではなく面で、複合的に支援 ・ 企業訪問により現場の課題感を共有し、課題解決を提案 ・ 商工会議所、商工会の会員企業様に当所を知っていただけるよう、見学会を開催 		

県政さわやかタウンミーティング

キャンパス長

主催者	部局	経済産業部	所属	工科短期大学校
開催日時	令和7年11月07日（金） 13時15分～16時			
会場	工科短期大学校沼津キャンパス（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング ヤバい広報勉強会			
テーマ	広報を通して課題解決、実践者を交えて意見交換			
開催目的	人材確保から物価高、さまざまな課題（ピンチ）に直面。課題も共通なら、解決策も共通するところか？魅力を高め人を集める・ピンチをチャンスに転ずる広報実践者たちのお話を聞き、意見交換を行います。すぐ答えは出なくても、ヒントやタネは対話の中から生まれるのでは？ネットワークづくりとしても、お役立てください。			
参加者	<p>工科短期大学校協会の会 34人 男 0人 女 0人</p> <p><input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生</p> <p><input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生</p> <p><input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般</p> <p><input type="checkbox"/> その他（）</p> <p>中小企業家同友会の会 0人 男 0人 女 0人</p> <p><input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生</p> <p><input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生</p> <p><input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般</p> <p><input type="checkbox"/> その他（）</p>			
対応者	キャンパス長			

開催結果概要

開催方法 (方法・次第等概要)	県広報業務アドバイザー平野雅彦氏からは、広報の概要や県の広報の方向性等を講義。感染症対策や現場、最前線で良くも悪くも「ヤバい」広報を実践してきた後藤幹生センター長や首都圏PR会社若手社員、マスコミ記者が登壇し、会場一体となった意見交換会。マスコミを通じたパブリシティ、動画を活用したSNS発信まで、媒体の効果的な活用、専門知見に基づく正しい情報発信やリテラシーの大切さが語られました。		
意見件数	4件（担当事業 0件、担当事業外 0件）	発言者数	4人
意見概要	<p>「広報に足を踏み入れたきっかけ」「広報の効果測定を求められているが難しい」「共感のポイントが理想からリアルに変化、その先はどうなるのか」「地域に貢献する教育機関のあり方」といった広報担当者らが抱える悩みが共有。</p> <p>(感想)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴重な機会をありがとうございました ・登壇者の話をさらに深く聞いてみたくなった ・会場とのやりとりが活発で場が温まった ・マーケティングだけでなく「好き・嫌い」の感性を大切に、はコンサルにも通じるものがあった ・共感のポイントが理想からリアルに変化、ではその先は？に関心をもった ・地域に広報ニーズがたくさんあることがわかった ・様々なジャンルからの大勢の集客に驚いた ・たくさんの方と交流して取材打診候補3社さんが見つかり、参加して良かったと感じた ・登壇者の紹介本を購入したり、静岡新聞デジタルを契約しコラム(窓辺)を読んだり、この先の学びにもなった ・復命書が回ってきて、躍動感あるフィジカルな勉強会の様子が伝わってきた ・これからも信念を持ち、明るく、柔らかな活動、御活躍を期待しています ・大変興味があり参加したかったが、直前に知ったので調整が難しかった(いただいた提言) ・「見せる化」(見える化より能動的に)や「効果測定」の仕組み化 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・教育機関・企業・行政の枠を越えた持続的なネットワーク形成で課題解決 ・SNSによる発信は「理想より共感」重視へ、地域発のストーリーテリングでPR強化
施策への 反映の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・「見せる化」（見える化より能動的に）や「効果測定」の仕組み化 ・教育機関・企業・行政の枠を越えた持続的なネットワーク形成で課題解決 ・SNSによる発信は「理想より共感」重視へ、地域発のストーリーテリングでPR強化

県政さわやかタウンミーティング

所長

主催者	部局	経済産業部	所属	中部農林事務所企画経営課
開催日時	令和7年12月09日（火） 15時～17時			
会場	ペガサート会議室（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 中部地域農業経営士会との意見交換会			
テーマ	中部地域の農業振興について			
開催目的	担い手農業者から農業振興施策等への意見聴取			
参加者	中部地域農業経営士連絡会 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			18人 男 17人 女 1人
対応者	所長 農業振興部長 技監兼企画経営課長 農山村整備部技監 生産振興課長 地域振興課長			

開催結果概要			
開催方法 (方法・次第等概要)	中部地域農業経営士と農林事務所による意見交換会		
意見件数	14件（担当事業 14件、担当事業外 0件）	発言者数	10人
意見概要	管内の農業経営士が抱える課題と取組について ・鳥獣被害対策の現状と対策 ・猛暑、温暖化等による高温障害の影響と対策 ・リスクに対する品種の検討 ・大雨等による被害の現状		
施策への 反映の方向性	意見を参考にし、県庁関係課と連携をとりながら施策への反映を進めていく。		

県政さわやかタウンミーティング

東部県民生活センター所長

主催者	部局	くらし・環境部	所属	東部県民生活センター
開催日時	令和8年02月04日（水） 16時～17時15分			
会場	東部県民生活センター（ ）			
名称	県政さわやかタウンミーティング			
テーマ	シニアを取り巻く就労の現状と課題			
開催目的	労働環境の変化に伴い、生涯現役世代社会の実現を見据えたシニア世代の働き方、状況の変化がある。 シニア世代の就労の支援を行うコーディネータの方々と、シニア世代の就労を取り巻く環境や現状、将来の動向などについて、意見交換を行い、今後の労働行政の一助とすることを目的とする。			
参加者	<p>就労コーディネータ 3人 男 3人 女 0人</p> <p><input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生</p> <p><input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生</p> <p><input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>一般県民 2人 男 2人 女 0人</p> <p><input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生</p> <p><input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生</p> <p><input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p>			
対応者	東部県民生活センター所長 東部県民生活センター次長			

開催結果概要

開催方法 (方法・次第等概要)	意見交換会 シニア等への就労支援の状況・見えてきた課題、行政への要望など		
意見件数	8件（担当事業 8件、担当事業外 0件）	発言者数	3人
意見概要	<p>1. 行政は、就労支援を行っている我々の「現場の声」を、よく聞いていただいて、施策に反映していただきたい。</p> <p>2. シニアを取り巻く環境が変化し、定年延長・再雇用の終了する60代後半から70代のシニアの就労希望が増えている状態であり、行政から、企業に対して、シニアの働き方を考えた雇用をするように働きかけてほしい。</p> <p>3. 国・県・市町・民間事業者が、シニア・障害者・女性の就労支援事業をおこなっているが、2重3重行政的などところがあると感じている。</p> <p>4. 就労促進事業においては、西部地区の市町間連携と比較し、東部地区においては連携が弱いので一層の市町の連携が必要と感じる。</p> <p>5. 民業圧迫ではなく、官独自の雇用促進事業をお願いしたい。</p> <p>6. 少子高齢化が進行し、若年就労希望者の減少が止まらず。一方でシニアと女性の就労が増加しているが、フルタイム勤務を希望する方は少ないので人不足の解消は難しい。</p> <p>7. 就職フェアでは、企業の求人出展数は増加していても、若年就労希望者が集まらない。</p> <p>8. 大企業への応募者倍率は2倍を超える。しかし、中小企業では、経営者が従業員募集に多額の費用を払っても、応募者がいない状況。</p>		
施策への反映の方向性	県庁所管課と共有し、就労支援に反映させることで、若年者・シニア・女性の就労向上に努めていく。		